

- 新製品開発の可能性が広がる
- 同業者からも加工依頼が増加
- データ化による技術の継承を進める

株式会社安田創作

製造業(オーダー家具)



複雑な3次元加工を高精度かつ迅速に家具、雑貨の提案力強化で新規開拓へ



3次元加工を可能にする5軸制御CNCマシニングセンター

会社の概要

当社は平成元年の創業以来、オーダー家具メーカーとして設計、製作、取り付けまでを一貫して行っており、CADやNCルーターを県内業界でいち早く導入した。製品に滑らかな曲線を持たせるアール加工を得意とし、住宅向け造作家具（建物と一体となったオーダーメイドの家具）はもとより、オフィスビル、公共施設、学校などへ、デザイン性が高く機能性を備えたカウンターや棚、会議用テーブルのほか、木製遊具などを納入し、実績を重ねてきた。展示

品を守るために高い品質が求められる美術館や博物館向けの展示ケースや木製化粧部材も手掛ける。また、地元富山の県産木材活用にも積極的に取り組む。

大手家具メーカーのOEMなど業容の幅が広がる中、より付加価値の高い製品づくりを目指して、人材育成に力を入れている。社員の資格取得を奨励しており、自治体発注の工事で強みを発揮する一級技能士や二級建築施工管理技士を有するほか、家具の制作設計図（寸法、角度など詳細を記した図面）に高いレベルで対応できる人材が5人在籍する。

補助金事業の内容

大都市圏を中心にオフィスビルの建設が高水準で推移しており、県内でも富山市中心部で再開発事業が進められていることなどから、オフィス向け造作家具の需要は今後も高まっていくとみられる。また、家庭向け家具では、婚礼用の需要減や消費者の低価格志向が顕著である一方、デザインや機能性、素材など自分好みの家具をオーダーする客層も少なくない。

その中で、オーダー家具を求める顧客の要望は年々複雑かつ多様化しており、コスト、納期、技術面での課題克服が難しいとして、やむを得ず受注を断念することもあった。オーダー家具の需要を着実に取り込んでいくためには、さらに高精度な加工技術を得る必要性があるとし、補助金を受けて、5軸制御CNCマシニングセンターを導入した。X・Y・Z軸に加え、回転する2軸を有し、3次元の球面加工など複雑な形状の製品を、迅速かつ正確に生産できる体制が整った。

補助金事業の成果

5軸制御CNCマシニングセンター導入により、立体的な3次元曲面加工だけでなく、これまで熟練の職人でも時間が掛かっていた、難易度の高い接手やホゾ加工、傾斜の付いた多角



5軸制御CNCマシニングセンターによる加工の様子

会社データ

創業 平成元年
代表 安田 哲彦
所在地 立山町日俣48-1
TEL/FAX TEL:076-462-2011 FAX:076-462-2037
U R L http://yasudasousaku.jp/
資本金 1,000万円
従業員数 12人
取扱製品 各種オーダー家具の設計・製作・施工、既製家具・インテリア関連用品販売、インテリアコーディネート相談

形、アールの付いた家具の加工も高精度かつ短時間で製作可能になった。

完成イメージを確認するためのサンプル加工も以前に比べて速やかに行なえる上、加工データが残ることにより変更への対応も容易になり、本加工の際もデータをそのまま活用できるので効率的である。

作業データ入力や制御画面の操作性が高まったことから、専任のオペレーター以外の工場作業員でも、操作が可能になった。量産、再生産にも対応できる。

効率化、省力化によって生まれた時間を有効活用し、ベテランから若手への技術の継承を図ると同時に、これまでに培った熟練技術を数値化してCPUに記憶させる作業も進めている。

今後の展望

長年培った設計ノウハウに、高い能力を持つ5軸加工機が加わったことを、企画・提案力に生かして、顧客

の要望によりの確に答えると共に、デザイン、機能など独自性のある斬新な製品づくりを行い、新規顧客の獲得、同社の知名度向上につなげる。また、コストを抑えた生産が可能になり、価格を理由にオーダー家具を諦めていた客の掘り起こしを図りたい考えだ。

家具だけでなく、木製のサラダボウルをはじめとするインテリア小物の新製品開発も進めている。ホテルやレストランから業務用大型食器製作の問い合わせがあり、試作を重ねている。品質面、衛生面の課題をクリアできれば、製品化、量産化も検討していく。

県内の業界で初めて5軸加工機を導入したことで、同業者からも一部加工の依頼が増えている。家具製造業界は家族経営が多く、高齢化や後継者難から廃業する企業も少なくない。本機で複雑な加工を受ける代わりに別工程を提供するなど、分業による県内業界の活性化も模索する。



導入設備を活用した家具(左)と家具の脚部分(右)



導入設備による試作品